

松本障害保健福祉圏域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

<p>部会・プロジェクト名</p> <p>第6回地域移行部会（zoom 会議）</p>	<p>開催日：令和4年 3月 10日（木）</p> <p>時 間： 13:30 ～ 15:00</p> <p>開催方法：zoom</p>
<p>参加者構成機関名</p> <p>塩尻市、麻績村（欠）、朝日村、松本保健福祉事務所 福祉課（欠）、松本市保健所、基幹相談支援センター、特定非営利活動法人ハートラインまつもと、障がい者総合相談支援センターWish、安曇野福祉協会（代理出席）、信濃友愛会、村井病院 松本市、安曇野市（欠）、松本保健福祉事務所健康づくり課</p>	
<p>次第（1）令和3年度 第4回幹事会報告</p> <p>（2）「精神障がい者地域生活支援研修会」のまとめ</p> <p>（3）令和3年度部会活動のまとめと、来年度以降に向けて</p>	

会議内容

（1）令和3年度第4回幹事会報告

協議事項「リーフレット案」「活用方法」について、承認された。

（2）「精神障がい者地域生活支援研修会」まとめ

日時：令和4年2月25日（金） 13:30～15:30 （Zoomによるオンライン研修会）

主催：松本保健福祉事務所 健康づくり課 共催：松本圏域自立支援協議会 地域移行部会

参加者数：医療機関4（11名）、相談支援事業所6（8名）、障害福祉サービス事業所2（4人）、行政3（3人）、基幹センター・総合相談支援センター4（7名）、ピアサポーター1名
計 20か所、34名参加

アンケート：アンケートは集計途中でもあり、画面共有で紹介（後日部会員に配布予定）

感想：講演のテーマについて学びとなった。日々を振り返る内容でもあり、研修は繰り返されることが大切だ。5ピクチャーズを知らないスタッフも多くいるので、学びの機会を持ちたい。ピアサポーターのメッセージが心に残った。コロナ禍で出来なかったことが多くあったと思うが、ピアサポーターの活動の場が増えていく事に期待する。等々。

（2）令和3年度まとめと、来年度に向けて〈資料：令和3年度地域移行部会実施報告〉

- ・地域移行を進める理由があるので、継続して取り組んでほしい。事例の積み重ねが大切だ。
- ・指定一般相談支援事業所として取り組んでみて、わかったことが多い。事例の積み重ねが大切。
- ・地域移行後の受け皿となる社会資源が足りないと感じる⇒地域づくりの部会等との連携が必要。
- ・精神科病院や入所施設の意見を聞く場がなくなってしまうか心配だ。意見交換の場が必要だ
- ・精神科病院のSWだけでなく、医師や看護師を含めた協議が出来る事の期待する。
- ・「精神障害者にも対応する地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場」の設置が、障害福祉計画で求められているので、各地域協議会においても地域診断や課題の整理など出来る事から進められると良い（R3年12月1日の県の研修を参考に）

・今まで見えにくかった協議会だが、地域の声を吸い上げて地域の中で活用され、地域と距離が縮まっていくことに期待する。